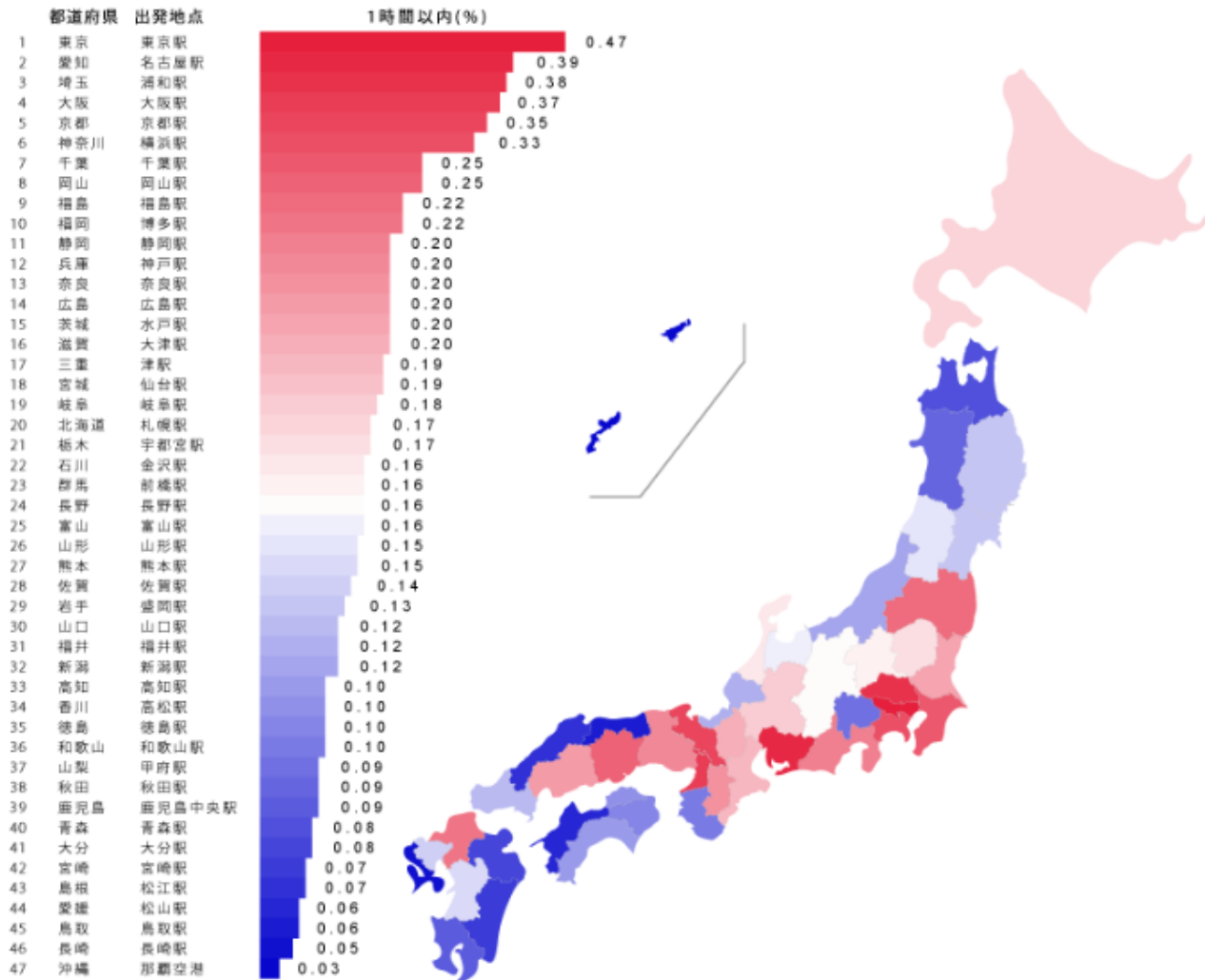


1時間以内の到達可能面積

少ない  多い

交通利便性を数値で表す方法を考えます。到達所要時間マップでは1時間ごとに到達可能なエリアを色分けしているため、各時間レンジごとに到達可能なエリアの面積を求めて、全国面積に対する割合を計算することにしました。つまりこれにより「1時間以内に到達できるエリアは全国の〇%」といった数値で表すことが可能となります。

今回は主要鉄道駅(沖縄県のみ那覇空港)を起点として出発から1時間までの到達所要時間とエリア面積を計算したところ次のような結果となりました。

1時間以内に到達できるエリアでもっとも面積が広いのは東京駅。やはりというべきか、東京都の公共交通機関の充実っぷりがうかがえます。上位10都府県のなかで注目したいのは岡山県と福島県。後ほど紹介する全国の到達所要時間マップでも確認できますが、新幹線を起点として短時間で大きく到達可能エリアを広げている様子が一目でわかり、興味深いランキングとなりました。

下位のほうを見てみると、他県と陸でつながっておらず県面積も狭い沖縄県がもっとも到達可能エリアが狭くなりましたが、それ以外にも西日本が多いのが特徴です。これは到達エリア面積を伸ばしやすい大阪や愛知、東京から遠い県が多く数値が伸びにくいということが要因として挙げられそうです。また、東日本では東北の2県とともに、意外にも首都圏の山梨県が下から11番目に入っているという結果がわかりました。

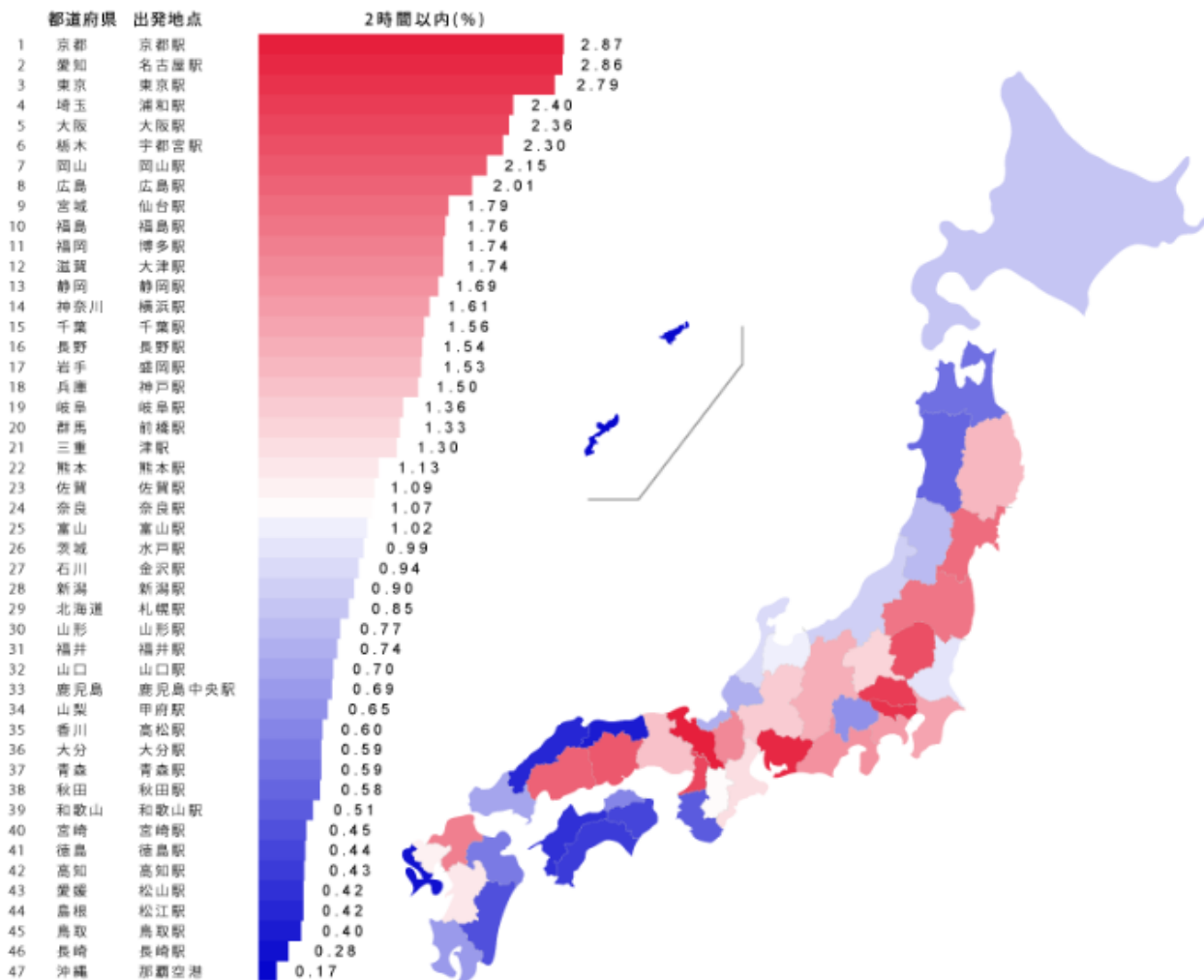
色分け地図を見てみると一つ大きな特徴が浮かび上がっていることがわかります。それは3大都市圏とそれを繋ぐ新幹線のラインが赤くなっているということです。この効果が先ほど紹介した岡山県と福島県の交通利便度に恩恵を与えていると考えられます。

資料: Yahoo! JAPANビッグデータレポート

ヤフー株式会社 「あなたの都道府県は何位? 交通利便度を可視化してみた」 から

2時間以内の到達可能面積

少ない 多い



どの時間帯でも1位が確実に思われた東京駅を上回る都市が二つも現れました。それが「京都駅」と「名古屋駅」です。それぞれ域内で交通網が充実している上に、2時間以内で異なる大都市圏、京都は名古屋駅を中心とした東海エリア、愛知は京都駅、新大阪駅を基点とした関西圏エリアを広くカバーできるというメリットが数値として表れたとみられます。また、色分け地図では1時間以内の時と比較して、より明確に新幹線の幹線から近いか遠いかがかっきりと移動可能範囲に影響を与えているということがわかる結果となりました。

資料: Yahoo! JAPANビッグデータレポート

ヤフー株式会社 「あなたの都道府県は何位? 交通利便度を可視化してみた」 から